

建設業を通じた社会とのつながり

2016年度の完成工事

港、橋、トンネル、公共施設、住宅など、心に描いた未来を現実のかたちにすることが建設業の存在理由といっても過言ではありません。建設によってつくられた創造物は、その場所から街へ、都市へ、そして社会へと波紋のような広がりを見せてつながっていきます。



市街地を「福祉の拠点」として活性化

大手通表町西地区
第一種市街地再開発事業における建設工事

新潟県 発注者：大手通表町西地区市街地再開発組合

新潟県長岡市では、「大手通表町西地区第一種市街地再開発事業における建設工事」が完成しました。

周辺街区を意識した色彩、長岡駅や大手通商店街のゲートとしてのシンボル性、城下町の街並みや昔ながらの建築物意匠を取り入れたデザイン、信濃川からの風や周辺景観に考慮した形状、などをコンセプトとして設計され、「ながおか町口御門」と名付けられた再開発ビルには、JR長岡駅から約2kmの位置にあった長岡市社会福祉センター「トモシア」が移転開設され、民間活力



工事期間中、仮囲いの壁面に花火大会の写真を彩り市民の眼を楽しませました。

を導入した有料老人ホームが整備されるなど、市民の暮らしをサポートする新たな「福祉の拠点」となることが期待されています。

被災者と地域の人々を結ぶ生活の場

塩竈市錦町東地区災害公営住宅建設工事

宮城県

発注者：(独)都市再生機構 宮城・福島震災復興支援本部

宮城県塩竈市では、「塩竈市錦町東地区災害公営住宅建設工事」が完成しました。本工事は、当社として3件目の災害公営住宅建設工事となります。

JR仙石線西塩釜駅近くに完成し「市営錦町東住宅」と名付けられた建物は、鉄筋コンクリート6階建て、1LDK～4DKの6タイプ70戸の居室を擁した災害公営住宅（復興住宅）です。エントランスに囲炉裏風ベンチが設置され、周囲は駅前ロータリーと連続した広場が整備されるなど、入居者にとって新しい生活基盤であると同時に、交流の場を提供しています。





被災地の未来を紡ぐ道路工事

国道45号 気仙大橋下部工復旧工事

岩手県 発注者：国土交通省東北地方整備局

岩手県陸前高田市では、国道45号気仙大橋下部工復旧工事が完成しました。

2011年の東日本大震災で旧橋が落橋した際、国交省の特命を受けた当社は、作業船による海上工事技術を活かし、当初工期を3ヶ月近くも短縮し、着工後3ヶ月足らずで仮設橋を開通させ、南三陸地区の復旧復興に大きく貢献しました。

新しい気仙大橋は、震災前は4基あった橋脚を2基で橋を支えられるよう設計され、橋の高さも仮橋に比べ4mほど高くなります。当社は上部工を支える橋脚2基を施工しましたが、鮭の遡上・稚魚放流時期は、河川内の作業を中止するという制約の中、昼夜間の作業を行うことで、工期内の完成を達成しました。



作業船を使用した仮設橋工事（2011年6月）



国道45号 小槌第2トンネル工事

岩手県 発注者：国土交通省東北地方整備局

岩手県上閉伊郡では、三陸沿岸道路「釜石山田道路」（延長23km）のうち「国道45号小槌第2トンネル」が完成しました。大槌町小槌から同町大槌を結ぶ延長975mのトンネルです。

釜石山田道路の開通により、国道45号と国道283号の渋滞が緩和され、災害時の避難路や補給路として重要な役割を果たすとともに、沿岸部の産業振興や観光促進が期待されます。

建設業を通じた社会とのつながり

2016年度の完成工事



世界に向けた扉が開く

ホニアラ港施設改善計画

ソロモン諸島 発注者：ソロモン諸島インフラ開発省

ソロモン諸島では、日本の無償資金協力工事である「ホニアラ港施設改善計画」が完成しました。

ホニアラ港国際埠頭は元来一般雑貨埠頭として整備されたもので、近年急増してきたコンテナ貨物や船舶の大型化に対応しきれず、荷役の効率性、

安全性などさまざまな問題が顕在化していました。ホニアラ港の第二国際埠頭およびコンテナヤードなどの施設を整備する本計画の完成により、安全で効率的な港湾運営が可能になり、待機船舶解消などの効果が表れています。



東南アジア全域へ広がる コールドチェーンの発信基地

クールジャパンCLK ベトナム冷蔵冷凍倉庫新築工事

ベトナム社会主義共和国 発注者：CLKコールド・ストレージ社

ベトナム社会主義共和国では「クールジャパンCLKベトナム冷蔵冷凍倉庫新築工事」が完成しました。

日本の魅力ある商品・サービスの海外需要開拓を目的として設立された「クールジャパン機構」が推進する、アジアコールドチェーン（低温物流）事業の第一弾として計画された本事業は、ベトナムでは初めての本格的冷蔵冷凍倉庫です。完成した本施設を流通の拠点として、高品質な日本食材が、東南アジア全域に広がっていくことが期待されます。



● 社会とのつながり・地域への貢献

次世代の担い手に建設業の魅力を伝える

横浜市神奈川区の浅野工学専門学校では、当社建築事業本部より派遣した講師が建築工学科4年生の「施工図実習」講義において、建築施工に不可欠な施工図の指導を行っています。昨年10月には講義の一環として、当社が得意とする給食センターと共同住宅の現場見学会を開催しました。参加した10名の学生は、当社職員との座談会などを通じて、現場をより身近に感じ、建設業の魅力にも興味をもってくれたようです。



現場見学会や職員との座談会に臨んで、専門学校生は建設業の魅力を肌で感じていました。

イメージアップを通じて地域と結びつく



広島県安芸郡の共同住宅の建設現場では、周囲を囲う塀に現場のイメージアップの一環として建設機械などのイラスト看板や仮設の花壇を設置しました。沿道は近くの保育園の散歩道になっており、散歩中の子供たちが立ち止まり、描かれている工事車両のイラストを見て「どの車が好き?」と話しあったり、巡回中の職員に話しかけたりと、近隣とのコミュニケーションに一役買いました。



現場の様子が見える仮囲いの前に仮設の花壇を設置

警察広報啓発活動への協力



■ 日比谷線ほか1線高架橋柱耐震補強工事

本工事は、東京メトロ日比谷線(三ノ輪駅～北千住駅)および千代田線(北千住駅～北綾瀬駅)において、地震による高架橋柱の被害を最小限に抑え早期の復旧を可能にすることを目的として、高架橋柱326本(管理総延長7.2km)の耐震補強を施工しています。

南千住駅周辺の工事では、安全確保のために仮囲い(高さ2m、延長150m)を設置しました。荒川区区道やJR常磐線の車窓から見晴らせる場所であることから、地域のために有効利用できないか検討していたところ、業務で訪問した警視庁南千住警察署で、警視庁の広報啓発活動の話を知りました。地域に貢献できるよい機会と考え、交通安全・防犯標語を仮囲いに掲示することを提案しました。標語のデザイン作りも含めて対応させていただき、およそ2年と4ヶ月にわたって警視庁の広報啓発活動に協力することができました。後日、南千住警察署長より感謝状をいただきました。今後も地域住民とのつながりを大切にしながら工事を進めていきたいと考えています。



南千住警察署より2回にわたって感謝状をいただきました。



感謝状 H27.7.14



感謝状 H29.1.24



職員集合写真